

1. 舞鶴引揚記念館企画展「ウズベキスタンと舞鶴」  
～抑留から交流へ、深まる絆～開催
2. 東西図書館 ウズベキスタン関連図書コーナー設置
3. 赤れんが博物館小企画展「ウズベキスタンとれんが」開催
4. その他
  - ・市内各所で姉妹都市提携に関するパネルを展示
  - ・赤れんがハーフマラソンでウズベキスタン選手を招待(予定)

## 1. 舞鶴引揚記念館企画展「ウズベキスタンと舞鶴」～抑留から交流へ、深まる絆～

抑留という過酷な環境下でも忘れなかった日本人抑留者の誇りと誠実な姿は、ウズベキスタンの現地の人々によって語り継がれ、日本人抑留者資料館の故スルタノフ・ジャリル館長の舞鶴への訪問(平成28年)をきっかけとして、国境を越えた交流へと繋がりました。

企画展では、ウズベキスタン抑留に関する貴重な実物資料や、抑留から交流、そして姉妹都市提携に至るまでの歩みをご紹介します。

【企画展名】「ウズベキスタンと舞鶴」

～抑留から交流へ、深まる絆～

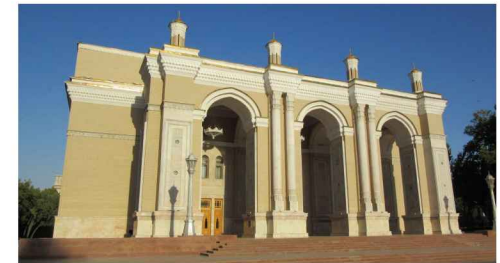
【期間】令和8年6月20日(土)～10月25日(日)

(休館日:毎週水曜日 ※祝日の場合は翌平日)

【時間】午前9時～午後5時(最終入館午後4時30分まで)

【場所】舞鶴引揚記念館 企画絵画展示室

【料金】無料(別途入館料が必要)



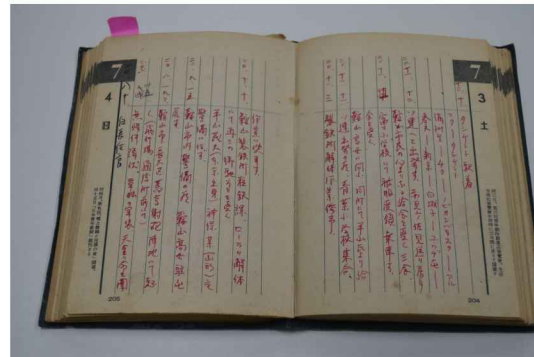
## 1. 舞鶴引揚記念館企画展「ウズベキスタンと舞鶴」～抑留から交流へ、深まる絆～

【主な展示資料】

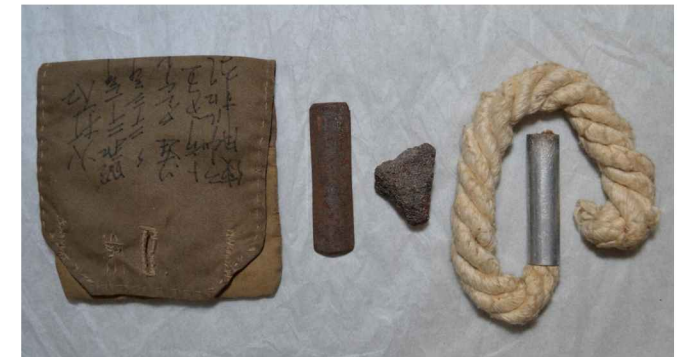
#### ①抑留の歴史（ナヴォイ劇場にまつわるエピソード紹介など）



◆煙草ケース  
ナヴォイ劇場の建設に携わり、帰国直前にウズベキスタンの方から贈られたもの。



◆手記  
陸軍時代から抑留、舞鶴港への帰還までが記された日記帳風のノート。



◆火打石  
タシケントの第5ラーゲルで使用されていたもの。

#### ②平成28年からの交流（東京オリンピックホストタウン交流や人材育成交流など）

ウズベキスタン・リシタン地区と舞鶴の交流をパネルで紹介するほか、ウズベキスタンの民族衣装なども展示

問い合わせ先					
事業名	担当課	担当者	電話番号	FAX番号	メールアドレス
企画展「ウズベキスタンと舞鶴」	舞鶴引揚記念館	嵯峨根、松本	0773-68-0836	0773-68-0370	hikiage@city.maizuru.lg.jp

## 2. 東西図書館 ウズベキスタン関連図書コーナー設置

ウズベキスタンとの交流開始以降、図書館では関連資料の収集に努めてきました。ウズベキスタンの伝統工芸を紹介した本をはじめ、ガイドブック、児童書など東西図書館で計約50点を、陶器などの工芸品とともに展示します。図書は貸出も行います。

- 【 期 間 】 令和8年5月22日(金)～7月15日(水)  
 (休館日)◆東図書館 毎週木曜日と毎月最終火曜日  
 ◆西図書館 毎週月曜日と毎月最終水曜日
- 【 時 間 】 午前10時～午後6時
- 【 場 所 】 東図書館および西図書館 入口ホール



問い合わせ先					
事業名	担当課	担当者	電話番号	FAX番号	メールアドレス
ウズベキスタン関連図書コーナー設置	舞鶴市立東図書館、西図書館	西躰、岡山	(東図書館)0773-62-0190 (西図書館) 0773-75-5406	(東図書館) 0773-62-9230 (西図書館) 0773-75-8410	toshokan@city.maizuru.lg.jp

### 3. 赤れんが博物館小企画展「ウズベキスタンとれんが」開催

ウズベキスタン抑留者から寄贈されたナヴォイ劇場のれんがやウズベキスタンから寄託されたサマルカンドの中心地にあるアシュラフハン廟のれんがなどを展示します。

- 【小企画展名】 「ウズベキスタンとれんが」  
 【期 間】 令和8年6月20日(土)～8月31日(月)  
 【時 間】 午前9時～午後5時(最終入館午後4時30分まで)  
 【場 所】 赤れんが博物館 2階  
 【展示内容】 ナヴォイ劇場やアシュラフハン廟のれんが、  
 パネル、民族衣装など  
 【料 金】 入館料:一般400円、学生150円  
 なお、舞鶴市内在住・在学の学生は無料



▲ナヴォイ劇場のれんが



▲アシュラフハン廟のれんが

#### 問い合わせ先

事業名	担当課	担当者	電話番号	FAX番号	メールアドレス
赤れんが博物館小企画展 「ウズベキスタンとれんが」開催	赤れんが博物館	福田、矢野	0773-66-1095	0773-64-5123	renga@city.maizuru.lg.jp